

第2回日本安全保障貿易学会研究大会のご案内

昨年9月に開催しました第1回研究大会に引き続きまして、第2回研究大会を下記の要領で開催いたします。パキスタンのA・Q・カーン博士による「核の闇市場」が暴かれて以降、アジアにおける大量破壊兵器(WMD)関連物資・技術の拡散懸念がますます強まる情勢にあります。第1回研究大会でもこのような情勢を受け、アジアにおける安全保障環境の変化を踏まえて、アジア地域におけるWMDや高度通常兵器関連物資・技術の移転規制にどのように立ち向かっていくかという観点から、研究報告と討論が行われました。第2回研究大会でも、同様の観点からアジアにおける安全保障環境の変化をどのように認識し、安全保障貿易管理のあるべき方向性とは何かについて、さらに掘り下げた議論を展開したいと存じますので、多くの会員の皆様にご参集いただきますよう、ご案内申し上げます。

平成18年2月24日

日本安全保障貿易学会会長・山本武彦

記

第2回日本安全保障貿易学会研究大会

日時：2006年3月18日(土) 13:30～18:00

場所：早稲田大学 西早稲田キャンパス 14号館401号教室

<共通テーマ：アジアの安全保障環境の変化と輸出管理>

1. 第1セッション：13:30～14:30

「東南アジア諸国の輸出管理体制を巡る諸問題」

報告者：鈴木一人(筑波大学)

討論者：山本武彦(早稲田大学)

司会：山本武彦(早稲田大学)

コ-ヒ-ブレ-ク：14:30～15:00

2. 第2セッション：15:00～16:00

「一般包括許可制度の国際比較」

報告者：平井 進（ソニー）

討論者：樋口禎志（産業技術総合研究所）

司会： 宗行伸太郎（キヤノン）

コ-ヒ-ブレ-ク：16：00～16：30

3. 第3セッション：16：30～18：00

シンポジウム＜アジアの安全保障環境と輸出管理＞

基調報告： 青木節子（慶応義塾大学）

パネリスト：浅田正彦（京都大学）

利光 尚（三菱商事）

押田 努（経済産業省）

モデレーター：村山裕三（同志社大学）